

公益社団法人 私立大学情報教育協会

平成27年度 第2回短期大学会議教育改革ICT運営委員会 議事録

I. 日 時 平成28年2月29日（月）18:00～20:00

場 所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 戸高委員長、坂委員、小棹委員、岡本委員、三田委員、松井委員、後藤委員
(事務局 井端事務局長、平田職員、竹苗職員)

III. 検討事項

今回は平成27年度短期大学会議の参加者アンケートを踏まえて開催結果を確認した上で、平成28年度会議の開催方針と企画について検討した。

1. 平成27年度短期大学教育改革ICT戦略会議の開催結果について

今年度は学長を含む管理職の参加が多かったことから、短期大学の置かれている状況の厳しさが伺えた。また、資料①の参加者アンケートの多くは、新たな高等教育機関の制度化と短期大学の役割についての講演や、アクティブ・ラーニング取り組みの事例紹介が大いに参考になったとの意見だった。一方、一部の参加者から、新たな高等教育機関の制度化に関する企画の意図を誤解している意見があり、開催趣旨を十分理解してもらえるような要項づくりを配慮することにした。

2. 平成28年度短期大学教育改革ICT戦略会議の開催方針と企画について

平成28年度の開催方針と企画を検討するため、参考資料「新たな教育機関の制度化について（骨子素案）」、「短期大学の今後の在り方について（審議まとめ）」を参考に、短期大学の現状を踏まえて以下の通り意見交換を行った。

- ① 平成27年度の事例紹介は先進事例を紹介するだけで参考になったが、28年度はそれだけでなく、新たな専門職業人養成大学の動向も確認しながら、短期大学としてのブランド化をどう考えていくのかを検討していけるような企画にしていくべきではないか。
- ② 教養教育、地域連携など様々な短期大学としての特徴を出していくべきではないか。
- ③ 講師は、短期大学の関係者だけでなく産業界からも招いて、地域社会のニーズも織り交ぜて短期大学をどうブランド化していくかを検討していくべきではないか。また、全体討議でそのような意見交換ができるとよいのではないか。
- ④ 短期大学は自大学をブランド化し、社会にその良さを理解してもらおう努力をしていく必要があるのではないか。
- ⑤ 本協会が短期大学への支援としてできることは、課題について短期大学が意見交換していく場を提供することになると思われる。

上記の意見を踏まえて、以下のように平成28年度の開催概要を作成した。次回委員会までに

事務局が講師の打診を行い確定した上で、次回委員会で開催要項を完成させることにした。

<平成28年度 開催概要>

開催日は、9月7日、8日、9日のうち、下記(1)の講演講師の都合を伺った上で確定する。また、講演、事例紹介の2校とも、連携している地域・社会からの声として、連携の意義、短期大学に望むこと、今後の課題など、地域の関係者にも会議でコメントしてもらえよう、協力いただくことにした。なお、地域の関係者が出席できない場合は、あらかじめVTR収録したコメントを会議で紹介するなど、いずれかの方法で地域からコメントをもらえるよう工夫することにした。

(1) 講演

講師：安部 恵美子（長崎短期大学学長）

内容：<講演> 新たな専門職業人養成大学の制度化の動向と短期大学の課題

<事例紹介> ブランド化に向けた自大学の取り組み

※事例紹介は、AP事業に採択されたギャップイヤー（地域体験活動、海外留学、国内外インターンシップ）を中心とした取り組みとする。講師は別途、担当教員が行うことも可とする。

時間配分：新たな専門職業人養成大学の動向 60分

事例紹介 30～40分

(2) 事例紹介

講師：和歌山信愛女子短期大学

内容：教養教育の全学的な見直しと、地域活動としての教育の取り組み

時間配分：事例30分～40分

(3) 全体討議

短期大学のブランド化を中心とすることを確認した。

3. その他

次回委員会は、4月20日（水）、21日（木）、22日（金）のいずれか18：00から開催することにし、今回の欠席委員も含めて事務局で至急、日程調整することとした。

以上